

気象操作計画がオゾン層を破壊しつづけている

May 1, 2014

Dane Wigington (GeoengineeringWatch.org)



現在、太陽が異常に強烈であることに気付いていない人があるだろうか？ それがいかに速やかに、皮膚を焦がし始めるかに気付いていない人があるだろうか？ 多くの人々はまた、葉が焼かれつつある植物や樹木に気付いている。これはあなたの気のせいではない。ますます酷くなっているこの事実の深刻さは、いくら強調してもしすぎることはない。

実は現在、日ごとに大きくなり、悪化するように見える巨大なオゾン・ホールが北半球に存在している（リンク）。この恐ろしい問題について、ひと言も我々の耳に入っていないのはなぜか？ それは科学者共同体が、完全な沈黙を守るように脅され（リンク）、主流メディアはこの“こぶ”を絨毯の下に隠すのに懸命になっているからである——それがいかに大きなこぶであろうと。



SAG（成層圏エアロゾル気象操作）とSRM（太陽放射管理）別名「ケムトレイル」は、事実上、来る日も来る日もオゾン層を破壊しつづけている（リンク）。このような現在進行形の成層圏エアロゾル散布計画のひどい現実、空を見上げて、ほんのわずかの客観的調査をするだけで誰にも明らかである。オゾン層の破壊に加えて、文字通り成層圏を飽和状態にしている有毒の微小物質は、完全に地球の天候と降雨パターンを狂わせ、多くの場所で極端な旱魃（ひでり）を、他の場所では大洪水を引き起こしている。

そこで当然、上にあがったものは落ちてこなければならないという事実がある。彼らの撒くすべての物質は空気柱の中に定着し、そこで我々は一人の例外もなく、一息ごとにそれを吸い込むことになる。NOAA（米海洋大気管理局）は最近、ある研究を発表し（リンク）、成層圏は最近数十年間に、微小物質で満たされたことを認めたが、それらがどこから来たものか分らないと言っている。本気で言っているのだろうか？ **もし気象操作が行われているとしたら、それによって起こる“であろう”オゾン層破壊を明らかにする研究は** 沢山あるが、現在行われている気象操作/ケムトレイル散布という、ますます大きくなる“部屋の中の象”を認める研究は全くない。

もし彼らが散布を続けるならば、オゾン層の破壊は一日ごとに悪化するだろう。オゾン層がなくなれば、地球上の生命は死滅する。それで終わりである。